

公益社団法人日本サーフィン連盟
2024 年度（第 15 期） 事業報告
(2024 年 1 月 1 日～8 月 8 日)

<総務本部>

【総務委員会】

1. 正会員及びオープン会員の募集及び登録業務を行いました。
2. オープン会員の更新案内を個人へ発送しました。
3. 2024 年度正会員登録状況を、統括組織代表者（支部長）やチーム代表者がインターネットで確認できるシステムの運用を行いました。
4. 会員に対する保険等の対応を行いました。
5. 議案等を作成し、各会議に提案しました。
6. 事務局の就業規則を適正に管理し、事務局業務の円滑化及び効率化を図りました。
7. 個人情報の適正な管理を行いました。
8. 独立行政法人日本スポーツ振興助成センターにスポーツ振興くじ、スポーツ振興基金、開催地の関係機関等に助成申請を行いました。
9. 大会の開催に関し、多くの人に知ってもらうためにスポーツ庁及び海上保安庁等に後援申請を行いました。
10. 他業種との連携を図り、連盟の活性化を検討しました。
11. UMI 協議会及びボートショー(2024)等に参加し、サーフィンの楽しさを一般の方々に情報発信しました。
12. 各種助成団体の調査及び加盟を図りました。
13. 公認会計士による監査の強化を実施しました。
14. スポーツ団体ガバナンスコード規定に準じた組織運営作りを目指しました。
15. 2024 年 8 月に公益社団法人に認定されました。

【普及開発委員会】

1. 各地域における情報伝達、意見交換の場として、統括組織代表者意見交換会等を実施しました。
2. サーフィン愛好者拡大を目指し、都道府県スポーツ協会への加盟にあたり、助言や指導を行いました。
3. 全国の地区統括組織のブロック化を検討しました。

【コンプライアンス委員会】

1. 倫理規程と倫理に関するガイドラインを見直しました。
2. 会員及び役員・委員へのコンプライアンス徹底推進を実施しました。
3. サーフィン界のコンプライアンスの啓発活動を実施しました。

<強化本部>

【国際委員会】（ISA コーチング・ジャッジ資格管理）

1. 派遣大会地域の国及び現地情報を把握に努めました。

2. 本連盟が関連する国際大会・事業等の企画運営を行いました。
3. ISA との連携を深め、情報交換を実施しました。
4. 国際大会の事前交渉等の円滑化を図りました。
5. オリンピックに関する大会でのサーフィン競技の継続的な実施へ向けて働きかけを行いました。
6. 国際機関と連携しサーフィンの普及発展に努めました。
7. アジア地域のリーダー国としてサーフィンの地域発展を進めました。
8. 公益財団法人日本オリンピック委員会等の事業や会議に参加しました。
9. アンチドーピング医科学委員会と連携し、WADA 及び JADA の定めるアンチドーピングを進めました。
10. スポーツ関係機関との連携を図りました。
11. 国際スポーツ界で活躍する人材を育成しました。
12. 国際レベルジャッジ育成のため、ジャッジ講習会の実施を検討しました。
13. ISA コーチング及びジャッジ資格を管理しました。

【強化委員会】（波乗りジャパン、SUP、パラサーフィン等）

1. 強化合宿を行い世界レベルの選手の育成・強化を進めました。
2. 世界レベルのコーチの育成をしました。
3. 強化指定選手制度を設け、ISA 大会にて優秀な成績を収めた強化指定選手（プロアマ問わず）に報奨金を支払いました。
4. 強化指定選手には、国際大会の選手参加費のサポート、主催大会の参加費免除、強化合宿費のサポートなどを実施しました。
5. 国際大会への派遣選手の選考及び派遣役員を選出しました。
6. JOC との連携により、国際大会で勝利できる選手育成を実施しました。
7. 強化戦略プランを作成し、計画に基づきジュニア選手の育成を実施しました。
8. 強化指定選手を対象とした強化合宿を実施するとともに、管理しました。
 - ・3月新強化指定選手強化合宿（3月18日、オンライン開催）
 - ・ジュニア・シニア強化合宿（ナショナルトレーニングセンター・サーフィン競技強化拠点）
9. 世界選手権大会の選考試合（ジャパンオープンオブサーフィン）の開催を検討しました。
10. 以下の国際大会等へ選手を派遣しました。
 - ・2024 ISA WORLD SURFING GAMES 2月23日～3月2日 プエルトリコ
 - ・2024 ISA WORLD LONGBOARD SURFING CHAMPIONSHIP 4月19日～4月25日 エルサルバドル
 - ・2024 ISA WORLD JUNIOR SURFING CHAMPIONSHIP 5月3日～5月12日 エルサルバドル
 - ・パリ 2024 オリンピック サーフィン競技 7月24日～7月31日 タヒチ
11. 国際大会等で得た最新の情報をフィードバックしました。
12. パリ 2024 オリンピック応援グッズを制作販売しました。

【アスリート委員会】

1. アスリートからの意見を集約し、事業や強化活動へ反映させました。
2. アスリートの環境整備を提案しました。

3. アスリートの課題を集約し、解決に向けた提案を行いました。
4. JOC アスリート委員会の活動に参加しました。

【アンチドーピング医科学委員会】

1. アンチドーピング活動を徹底するとともに周知活動を実施しました。
2. ドーピング検査の導入を検討しました。
3. サーフィンに関する医学的な調査研究を実施しました。
4. 強化選手等を対象に専門的な知識の理解を深める活動を実施しました。

<事業本部>

【事業委員会】

1. オフィシャルパートナー・各主催大会・プールスクール事業の協賛募集活動を行いました。
2. 主催大会・派遣大会の結果をオフィシャルパートナーに報告しました。
3. NSA ネットショップ(ALOHA STORE)にて、NSA 関連商品を販売しました。
4. 環境省リサイクル推進室「プラスチック・スマートキャンペーン」海洋プラスチックごみを無くす取り組みを企画委員会と協力し、実施しました。
5. 主催大会会場にて、NSA 関連商品を販売しました。
6. 主催大会参加賞 TEE シャツや役員用帽子を作成しました。
7. 収益事業の提案を行いました。
8. 会員特典の拡充を図りました。
9. 会員数増加のための周知活動を行いました。

【企画委員会】

1. 事業委員会、広報委員会と連携し、サーフィンに対する周知を図りました。
2. 主催サーフィンスクール及びプールスクールを行政及び学校と連携し開催しました。
3. 新規事業の提案を行いました。

【広報委員会】

1. 「YEARBOOK」を2024年5月に全会員と公認ジャッジ、公認指導員、協力店、支部長へ郵送しました。
2. ジュニアオープン選手権・全日本級別選手権の大会プログラムと大会ポスター(地域等限定)を作成し配布しました。
3. NSA オフィシャルサイトとの連動を図り、最新情報を広く配信しました。
4. NSA オフィシャル SNS (主にインスタグラム)においてファン獲得に向け配信活動を行いました。
5. NSA オフィシャルサイトに主催大会結果、写真等をアップしました。
6. 協力店等に「ルール&マナーブック」を無料配布しました。
7. 「ルール&マナーブック」を主催大会、公認大会に無料配布しました。
8. 春のインタースタイルにブースを出展しました。
9. 各主催大会のライブ配信においてCM協賛の募集活動を行いました。

10. 主催大会やイヤブックス等印刷物の予算獲得に向け、日本スポーツ振興センターへの申請及び報告業務を行いました。

<競技本部>

【大会開催委員会】

1. 第32回ジュニアオープンサーフィン選手権大会(2024)を開催しました。
開催場所：高知県 東洋町 生見サーフィンビーチ
開催日：2024年4月12日(金)～14日(日)
2. 第41回全日本級別サーフィン選手権大会(2024)を開催しました。
開催場所：福島県 南相馬市 北泉海岸
開催日：2024年7月3日(水)～7日(日)
3. 主催大会の構成や効率化を検討しました。
4. ポイントランキング制度を改定しました。
5. 公認大会の改定及び運営管理を行いました。
6. 公認大会のエントリー及びその他詳細についてNSA オフィシャルサイトに掲載しました。
7. 公認大会支援事業として、エリアフラッグ、タイムフラッグ、ゼッケン等を貸与しました。
8. 第32回ジュニアオープンサーフィン選手権大会、第41回全日本級別サーフィン選手権大会にてライブ中継を行いました。
9. 2026 愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会と開催準備を進めました。

【ジャッジ委員会】

1. 公認大会主催者より要請を受け、ジャッジを派遣しました。
2. 主催大会の専任ジャッジを選出しました。
3. 国際大会に準じて改定した競技ルールを施行しました。
4. 主催大会においてプライオリティルールを施行しました。
5. 主催大会においてジャッジシステム（リフレッシュ等）を使用しました。
6. サーフィン検定主催者より要請を受け、マスタージャッジを派遣し、全国での見解統一に努めました。
7. NSA OFFICIAL JUDGE GUIDE BOOK の作成を検討しました。
8. 教育委員会と連携し、主催大会においてジャッジトレーニングを開催しました。
9. ジャッジスキル向上のため、ISA および JPSA へのジャッジ派遣を検討しました。

<教育本部>

【教育委員会】（ジャッジテスト、ジャッジ講習会、サーフィン検定、スクール審査員）

1. サーフィン検定の開催スケジュールについて管理・調整を行い、一般の方々を含めた受験者を募集しました。
 - ①検定基準の統一を目的に必要な応じてマスタージャッジの派遣手配を行いました。
 - ②検定を通して開催地域のA級ジャッジからマスタージャッジを採用し、地域のジャッジ活動を促進しました。
2. 春季公認ジャッジ講習会（試験なし）を開催しました。

- ※ 1、2 の事業はジャッジ委員会と連携して行いました。
3. スクール審査員講習会（試験なし）を開催しました。
 4. サーフィンの教育普及活動に関する取り組みを行いました。

【安全対策委員会】（公認指導委員、海洋レジャー安全指導員講習）

1. サーフィンに関する安全普及活動を実施しました。
2. 主催大会、公認大会等の安全管理を徹底しました。
3. サーフィン環境の保全、改善による安全対策を計画し実施しました。
4. 海上保安庁、（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会・（一社）ウォーターリスクマネジメント協会の事業と連携して公認指導員講習会及び実技・試験を実施し、全国の指導員配置に努めました。

日 程 ： 2024 年 3 月 10 日（日）

会 場 ：（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会大会議室 （横浜）

5. 主催大会会場での救急救命訓練・講習会の実施を検討しました。
6. （一社）ウォーターリスクマネジメントに協力を要請し、主催大会での会場パトロール業務を行いました。